

ミャンマー (ビルマ)



タダインシェ

ティンアンウィンさん



(男性・58才・10期・92年度)
-農業 (農法、協同組合)
現地NGOであるBurmet Instituteでフィールドワーカーとして働く。その経験を活かし、元研修生や村の活動を外から支えている。

トゥンティンさん



(男性・44才・11期・93年度)
-農業 (農法、協同組合)
2008年に起こったミャンマー南部のサイクロン救援活動に入り村を離れる。その後もデルタ地帯でサイクロン被災者に農業指導を行う。

ムームーさん



(女性・55才・11期・93年度)
-保育、保健衛生
村のYMCAの幼稚園で21年働き退職。在職中は子どもの虫歯削減、栄養状態の向上に取り組む。また村の女性グループでの保健活動にも尽力する。

トゥントゥンさん



(男性・38才・12期・94年度)
-農業 (養鶏、野菜)
僧院のボランティアリーダーとしてHIV/AIDSプロジェクトを行う。また元研修生を集め定期的に話し合いを行い、まとめ役を担う。

カインソーさん



(女性・39才・14期・96年度)
-保健衛生、栄養、洋裁
20期生スウェィンさんと結婚し、イェボ村に。2人の育児の合間に、農業の手伝いを行う。

タウンティンテーさん



(男性・40才・23期・05年度)
-農業 (稲、野菜、酪農)
アミノ酸や天恵緑汁等を実践。疎植などは村の人にも受け入れられているが、有機堆肥等は広がらず。現在は普及のための勉強会を企画中。

スーサーテインさん



(女性・33才・24期・06年度)
-学校教育、保健衛生
村の学校で全ての科目を教える。ティダさんと一緒に村の保健衛生活動に取り組む。現在は村に図書館を作るために準備中。

ティダさん



(女性・39才・11期・93年度)
-保育、保健衛生
YMCAの幼稚園及び保健センターのスタッフとして働く。マラリアの予防、Thirst for aid (安全な飲料水の普及)のリーダーとして活動。

イェボ

スウェィンさん



(男性・31才・20期・02年度)
-農業 (稲、野菜、養鶏)
有機農業を実践しながら村での普及活動も行う。また村の人のためにお米を適正価格で仕入れて販売するなどの活動も行っている。

ケンタウエさん



(女性・29才・21期・03年度)
-農業、保健衛生、栄養
薬科大学で公務員として働く。村のクレジットグループでは会計を務める。現在の目標は村の学校で虫歯さの指導をして虫歯を減らすこと。

ソーウィンさん



(男性・42才・22期・04年度)
-農業 (稲、野菜、果樹)
有機農業で田畑をしながらマンゴー、パパイヤ、バナナなどを栽培。マンゴーは苗を育て販売も行う。お寺への寄進など村の活動に熱心。

ミンガン

ポーポーハンさん



(男性・28才・26期・08年度)
-農業、保健衛生、栄養
有機農業の実践を試みる。農薬を使わずの栽培に成功し、村にも広げる。'10年11月に元職員と結婚。

ザーナウンさん



(男性・24才・27期・09年度)
-農業、保健衛生、栄養
通信制大学で学びながら有機農業に取り組む。日々の栽培記録を作成し、将来の普及活動に備える。学校で孤児の支援活動も行う。